



北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.coocan.jp/>

中野区立北中野中学校

★合唱の先にあるもの

校長 津村 慶

文化発表会に向けた合唱練習に熱が入ってきました。学校中に歌声が響くこの時期は、生徒全員が1つの目標に向かって進んでいく空気感に胸が高鳴ります。音楽の授業を中心に、朝や放課後の練習を重ねていく中で、意見がぶつかったり気持ちをわかり合えたりと、さまざまな出来事があるでしょう。それらを自分たちの力で乗り越え、かけがえのないものをつかめるといいですね。

以前に勤務していた学校で、音楽科の先生が生徒に話していたことが印象に残っています。

「合唱はクラス全員で織り上げる1枚の布のようなもの。高い声、低い声、太い声、細い声。一つひとつが違った色の糸として重なり合って、きれいな布になっていく。」

「だから、一人として要らない声はない。」

「重なる声が多ければ多いほど、より深みのある合唱になる。全員の声を手前に重ねることで、そのクラスにしか歌えない美しい合唱をつくろう。」

教員になって初めて臨んだ合唱コンクール。担当していた学年の課題曲は「Let's search for tomorrow」でした。曲名が歌詞となっているサビの部分で、ソプラノの高音にアルトや男子パートの声が重なるきれいなハーモニーに背筋が震えたのを今でも覚えています。十代の若者にしか出せない透明感のある歌声が歌詞の内容に合っていて、夢をもって未来へと進んでいく中学生の姿が、歌から伝わってくるようでした。

15年ほど前から「あなたへ」という合唱曲をよく聴くようになりました。中学校時代に、誰もが経験する心の葛藤をストレートに描いた歌詞。そんな曲をまさにその時代を生きる中学生が歌うと、何とも言えない臨場感があり、心を揺さぶられるような感覚になります。

各クラスの合唱では曲の歌詞をしっかりと理解し、その曲が描く世界を十分に味わいながら歌うことで、合唱に命が吹き込まれ、より生きた合唱になります。「気持ちを込めて歌うことが大切」とよく言われますが、どれだけ曲の世界に入り込めるかが鍵になるでしょう。

プロの合唱団が歌うお手本のCDを聞いても決して感じない何かが中学生の合唱にはあります。聴いている人たちの心に響く不思議な魅力が、皆さんの合唱にはあるのです。そして、その不思議な力は、練習を重ねる中で歌っている皆さん自身も感じるはずです。励まし合ったり、良くないところを相談したり、どんなクラス合唱にしたいのかを何度も話し合ったり。そうやって多くの問題を解決することで、そのクラスにしか歌えない合唱が完成します。クラス全員の声がかきれいに重なってひとつにまとまる感覚は、きっと皆さんの心を熱くするでしょう。

「一人として要らない声はない。」この言葉を忘れずに、素晴らしい合唱を創り上げてください。

◆◇◆3年生修学旅行記-1◆◇◆

コロナウイルス感染者数がピークを過ぎた頃、3年生は当初の予定通り9月7日から2泊3日で京都・奈良への修学旅行に出かけました。

初日の朝は地元からグループごとに東京駅に向かいましたが、全員が時間に遅れることなく集合。丸の内南口の地下にある遊歩道で出発式を行いました。新幹線は端の2つの車両がすべて北中生の席となり、一般の乗客と接することなく、貸し切り列車のような好条件でした。車内では写真を撮り合うグループ、カード・ゲームで盛り上がるグループなど気分上々。東京を出る時は今にも雨が降り出しそうな曇り空でしたが、京都に着くと天気は快晴に変わっていました。夏のような暑さの中、元気にバスに乗り換えて、いざ奈良へ。予定より少し遅れて法隆寺に到着したため、昼食時には池田先生から「時間が押してるから少しだけ急いで食べてねえ。」との指示。それでもお腹が空いていたのか、たくさんの生徒がおかわりに並んでいました。法隆寺ではバスガイドさんの説明を聞きながら、世界最古の木造建築である五重塔や金堂、大講堂を見て回り、大宝蔵院では美術の教科書でお馴染みの夢違観音像や玉虫厨子、百済観音像など飛鳥時代の国宝を間近で見ることができました。



ふたたびバスに乗り込んで2つ目の見学地、薬師寺へ。大講堂の横にある回廊でお坊さんの説法を聞きました。「皆さん、奈良で一番有名なお寺はどこですか？」という質問に「法隆寺」、「東大寺」などの答。咳払いの後で「皆さん、よ〜く考えてくださいよ。奈良で一番有名なお寺はどこですか？」と聞き直すお坊さんに、今度は「薬師寺！」と答えることができました。薬師寺の歴史や見所についての楽しい法話の後、金堂にある白鳳時代の国宝、薬師三尊像を見学し、東塔と西塔の外観を眺めながら再びバスへ。東大寺に向かう車内では、ほとんどの人がぐっすり zzz。ガイドさんも車窓の説明を少し控えめにしていました。

東大寺にはほぼ予定通りの16時に到着。山門で有名な仁王像を見た後は、いよいよ大仏殿へ。回廊の受付を過ぎたところで、まず大仏殿の大きさに驚き、中に入ってもう一度、大仏の大きさに驚いていました。大仏殿を出たところで班ごとに記念撮影。その後は班行動となり、奈良公園で鹿に餌をあげる班や、興福寺に向かう班、二月堂・三月堂を目指す元気のある班など様々でした。



9月8日（木）給食試食会が行われました



コロナ禍で実施することができなかった給食試食会を父母と教師の会の1学年部が主催して開催してくださいました。メニューは『ご飯、ジャンボ揚げ餃子、中華ナムル、チンゲンサイと玉子のスープ、巨峰、牛乳』です。ジャンボ餃子は生徒にも人気のメニューです。

24名の保護者が参加してくださいましたが、栄養士の和田先生の説明を聞いて、給食の安全性や化学調味料を使わない調理方法に驚いていました。



ぴよこたん放課後学習室



9月7日から13日までの5日間、3Fの学習室で今年度2回目となる「ぴよこたん放課後学習室」が開かれました。

5日間で55名の1・2年生が利用し、試験勉強を進めました。静かな空間での学習はとても効果があったと思います。

9月20日に武蔵台小学校、上鷲宮小学校、西中野小学校の6年生が北中野中学校に来て、部活動体験を行いました。

すべての部活動が同時に活動するため、武蔵台小学校の体育館もお借りして実施しました。初めて経験する中学校の部活動ですが、中学生のリードで楽しそうに活動していました。途中から雨が降り出し、校庭で活動していた野球部とサッカー部は大変でしたが、皆、精一杯に活動を楽しみました。引率してくださいました小学校の先生方、ありがとうございました。

小中連携オープンキャンパス



1・2年生の保護者の皆様へ

北中サポートルーム(KSR)の来年度の新規利用について

特別支援教室(北中サポートルーム)では、通常学級に在籍していて学校生活を送る上で課題を抱えている生徒を対象に、学習や生活で困っていることを改善・克服するための指導を行っています。指導内容は、話の聞き方やノートに写すときのポイント、コミュニケーションの取り方や周囲との協力の仕方など、学習や生活上の困り感に対処するための方法で、各教科の授業内容をサポートするいわゆる補充学習教室の類いとは異なります。本校では拠点校の中野中学校から巡回指導教員が訪問し、指導を受ける生徒は週に1日1時間程度、在籍学級の授業を抜けて校内の別室で指導を受けています。

今後、新規で特別支援教室を利用したい場合は、次の利用開始のタイミングが令和5年4月となります。ご希望の方は、校内での審議を経て中野区教育委員会に必要書類を提出し、教育委員会で行われる判定会議にて利用の可否が決定します。お申し込みをされる場合は、2年以内に受けた発達検査(WISC)の結果が必要となります。これから検査を受ける場合は、今年度から原則として、医療機関や療育機関等の外部機関で受けていただくことになりました。検査は有料となり、且つ申し込みから結果の受領まで2ヶ月程度かかることが予想されますので、新規での利用をお考えの方はお早めにご検討ください。また、検査結果は判定会議での判断材料となり、結果によっては特別支援教室の利用ができないと判定されることもあります。あらかじめご了承ください。

来年度から新規で利用をお考えの方は、検査や手続き等の関係から、10月21日(金)までに学級担任までご連絡ください。

特別支援教室についての詳細については、中野区のホームページに「特別支援教室のご案内」が掲載されています。ホームページの検索窓から「特別支援教室」で検索されますと、詳細をご確認いただけます。

中野区 HP → <https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp>



◆◆◆3年生修学旅行記-2◆◆◆

2日目も薄曇りの好天。起床後すぐに荷物を京都に送り、朝食を食べてから宿舎の近くにある興福寺の境内でクラス写真を撮りました。そこからは班ごとに電車で京都を目指します。京都市内にむかう途中、約6割の班が伏見稲荷大社を、約3割が平等院を訪れました。平等院鳳凰堂は“平成の大改修”を終えたところで、創建当時の色鮮やかな外観が鏡池に映る美しい姿を見ることができました。

京都市内ではバスや電車を駆使して見学地を回りましたが、他の修学旅行生に加えて一般の旅行客も多く、バスに乗れなかったり、昼食場所に入れなかったりといったハプニングに見舞われ、予定通りにいかない旅の難しさも経験したようです。それでも見学時間を短くしたり、見学場所をカットしたり、走ったりと臨機応変に対応する姿が見られました。夕方には小雨が降り出しましたが、各班とも無事に見学を終えて自分たちの力で宿に戻ってきました。

夕食後は大広間で漆器の加飾体験を行いました。サンプルの図柄を思い思いに組み合わせ、漆器の表面に丁寧に線を描いて色をのせていきました。修学旅行の良い思い出になるでしょう。



最終日はタクシー行動です。ジャンボタクシーに乗り込み、前日に行けなかったエリアや、電車やバスでは行きづらい場所を班ごとに巡りました。朝食後、部屋のチェックを受けた班からロビーに集合。順番にタクシー乗務員の方とホテルの前で対面してスタート。半日のスケジュールを伝え、より効率的に回れる順番に変えてくれたり、見学地では詳しい説明やガイドブックにない豆情報を教えてくれたりと、見学の中身がより充実しました。昼食も班で決めたお店で食べましたが、中には乗務員さんからおすすめのお店を覚えてもらった班もあったようです。



すべての班が半日の行動を終えて京都駅に到着し、駅前の広場で閉行式を行いました。帰りの新幹線では、3日間の疲れで熟睡する生徒、まだまだ元気で友達と盛り上がる生徒、iPadで撮った写真を確認する生徒など様々でした。班で食べる昼食がボリュームに欠けるのでは…との配慮から、途中で大阪名物の豚饅頭とお茶が配られ、食べた後は再び元気を取り戻して残りの時間を楽しんでいました。



台風の影響は新幹線の車内で過ぎ去り、予定通りに東京駅に到着し、解散式を行いました。自分たちで考え、相談しながら行動した3日間。節度のあるしっかりとした行動と、明るく仲の良い雰囲気が多く場面で見られた、3年生らしいさわやかな修学旅行でした。



北中選手団、連合陸上で躍進 !!

9月27日、澄み切った青空の下、駒沢競技場で3年ぶりとなる中野区連合陸上競技大会が行われました。国立、私立を含めた13校が参加し、北中からは39名が代表選手として出場しました。

7月から朝と放課後の練習を始め、夏の厳しい暑さの中でも練習を続けました。その成果が当日は多くの種目で北中生が躍動し、10種目でメダルを獲得、18種目で入賞という成績を残しました。結果は男子総合3位、女子総合3位。1位と2位の学校には陸上競技部があることを考えると、北中の総合第3位はたいへん素晴らしい結果です。

勉強だけではなく、運動でも高いポテンシャルを発揮する「文武両道」の学校であることを、代表選手たちが証明してくれました。以下に入賞者を紹介します。



- | | | | |
|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
| ◆3年男子 1500m | 第1位 M・Y | ◆共通女子 走幅跳 | 第4位 N・S |
| ◆1・2年男子 1500m | 第1位 K・A | ◆1年男子 100mH | 第5位 O・I |
| ◆1年男子 4×100mR | 第2位 KS、MT、OI、TH | ◆共通女子 800m | 第5位 O・K |
| ◆1年女子 4×100mR | 第2位 HA、HK、SY、NH | ◆共通女子 1500m | 第5位 W・M |
| ◆共通男子 走高跳 | 第3位 S・R | ◆共通男子 4×100mR | 第5位 TM、KS、KH、SR |
| ◆共通男子 砲丸投 | 第3位 K・S | ◆共通女子 走高跳 | 第5位 M・R |
| ◆3年女子 100m | 第3位 K・M | ◆共通男子 200m | 第6位 K・H |
| ◆3年女子 100mH | 第3位 T・M | ◆共通女子 砲丸投 | 第6位 H・N |
| ◆1・2年女子 100mH | 第3位 A・M | ◆3年男子 100m | 第7位 T・M |
| ◆2年女子 4×100mR | 第3位 FR、YM、KS、AM | ◆2・3年男子 110mH | 第7位 A・S |
| ◆1年男子 100m | 第4位 M・T | ◆共通女子 4×100mR | 第7位 KM、TM、OK、OK |
| ◆2年男子 100m | 第4位 K・J | ◆共通男子 800m | 第8位 U・H |
| ◆2年女子 100m | 第4位 F・R | ◆共通男子 走幅跳 | 第8位 O・R |
| ◆2年男子 4×100mR | 第4位 YK、AY、FS、KJ | ◆1年女子 100m | 第8位 H・K |